

行事名	7月例会: English Workshop 及び青年委員会国際グループ活動報告
日時	2015年7月25日 13:30~17:00
場所	荻手第二ビル 5F 会議室 C,D
講師、発表者	講師: Steven Ashton 氏 国際グループ活動報告: 2名
担当者: (○印: リーダ)	松井、竹入、松田、細野、佐藤、○丸山
参加者数	28名 (+委員12名)

1. 背景・目的

グローバル化が進む中、英語も重要なビジネススキルとなりつつある。文法やリーディングは個人で勉強できても、英会話はなかなか実践の機会がなく、個人で勉強するのは難しい。そこで英会話を実践するためのワークショップを企画した。

今年は国際交流に興味がある方、英語で話したいけど機会がない方へのヒントとなるべく、青年技術士交流実行委員会国際グループの紹介も併せて行った。

2. 例会内容

1) English Workshop (13:30-15:40)

以下の内容で実施された。

アイスブレイク。

国際会議を想定した簡単な挨拶の練習。(絵を用いて好きなものや嫌いなものを説明。)

二人ペアによるせりふ(会話文)の作成、練習、発表。他

2) 青年委員会国際グループ活動報告 (15:55~16:30)

以下の内容で実施された。

ミャンマーで実施された CAFEO について公費派遣者による英語での発表。

日韓について、青年委員会メンバーによる英語での発表。

Workshop 講師による講評(よかった点、アドバイスなど。)

3) 実施しての感想

- ・昨年同様講師を依頼した講師の Steve Ashton 氏は参加型のワークショップを実施するのがとても上手で、青年委員としても交流会などで参考になる方法がたくさんあった。。
- ・英会話を実践する機会が多く設けられ、参加者は英会話を実践する機会とともに、交流をする有益な場が提供できたと思われる。
- ・例会開始の 30 分以上前から参加者が集まり、普段よりも早めに来られた方が多かった。少し手持ち無沙汰感があったので、何か英語の読み物やトピックス等、他に情報提供ができる資料を用意して、おもてなし感を出せば良かったと思う。
- ・参加は 30 名弱だったが、CD 会議室ではすこし手狭だった。

3. 成果と所感

- ・今回は英語力を強化させるという主旨のもと、委員長の挨拶、国際グループも含め、全てを英語によって実施した。参加者も英語に興味を持っているため、例会の進行については抵抗なくスムーズに受け入れられたと料する。
- ・昨年同様、講師が徐々に盛り上げていくワークショップだった。参加者も英会話を実践し、ペアになりせりふを作成するなど、大いにアウトプットが図られたが、途中参加・退場は難しい内容だった。
- ・英語企画は参加者の関心が大きく、他のところであまり無い企画であるため、青年委員に興味を持ってもらうきっかけには有効な企画であると考えられる。
- ・1ヶ月前から優先順位をつけて、参加を募集した。開催直前には定員に近い人数まで応募があったが、当日のキャンセルも多く、幹事としては、例会の告知、募集のタイミング、人数調整を読むスキルが必要だと感じた。
- ・第二部のプレゼンでは、CAFEO や青年委員の活動について英語で発表を行った。国際交流に興味がある方、英語で話したいけど機会がない方への提案になったと考えられる。英語で青年委員について発表をする際のよいベースができたと思われる。

4. 今後の展開

参加者のアンケートでは今後も定期的に、年1回よりも頻繁に開催して欲しいなどの要望があった。英語企画は一定の要望があり、今後も継続して実施してもよいと考えられる。実施頻度に関しては英語をスキルを上達させることを考えると、年に数回実施できると望ましいが、費用、準備や他の例会との兼ね合いもあり、工夫が必要である。今回のアンケート結果を参考にし、次回へのステップアップに繋げていきたい。

文責 丸山

English Workshop	
	
講師 Steven Ashton 氏	国際会議を想定した挨拶の練習
	
二人ペアによるせりふ(会話文)の発表	
国際グループ	
	
CAFEO 報告	日韓サッカー